令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	元気を生み出すスポーツの振興	課（室）名	スポーツ振興課
施策	スポーツの振興	電話番号	087-839-2626
基本事業	市民スポーツ活動の推進	事業実施主体	市
事務事業	市民スポーツ活動推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生涯スポーツの振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会　コミュニティスポーツ専門部及び健康・体力つくり専門部等と連携、支援する中で、各種事業を展開するとともに、（公財）高松市スポーツ協会　競技スポーツ専門部等への支援を通じて、競技力の向上に取り組んでいる。また、青少年のスポーツ振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会　高松市スポーツ少年団と事業を実施するなど連携・支援を行っている。 また、本市が委嘱しているスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っている。
2年度概要	スポーツ推進審議会委員の報酬（１１人×１回） スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等（９０人×２６回） 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民に対しては、各小学校区に男女１人ずついるスポーツ推進委員を中心として、スポーツの振興を図る。主催６大会の参加チーム数を増やす。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 主催６大会の大会開催日数	日	6	6	6	4	4
②						

【事業の成果】

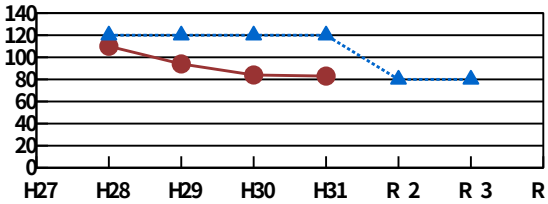
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
主催６大会参加者チーム数	チーム	目標値	120	120	120	80	80
		実績値	94	84	83		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

高松市スポーツ推進委員を通じて、各地区住民への参加を促すものの、各地区行事等と重複したこと、また、スポーツ推進委員が平成３０年度に減少したこと等から、目標値に対し、約７０％に留まった。

（目標達成度）



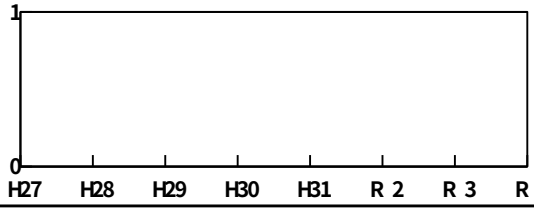
（達成度）
69.2%
24点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	58,650	55,720	46,503	80,229
(事業費)	[千円]	38,924	36,059	31,327	65,053
(職員人件費)	[千円]	19,726	19,661	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

参加資格要件を緩和する等により、参加チーム数の増加に努めているが、新規参加者が少なくチームを結成できないこと、各地区行事と重なったこと等もあり、結果的に前年とほぼ同数で改善は見られなかった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和２年度より主催大会数を６から４とし、新規参加チーム数の増加に努め、更に既存事業内容についての見直しを行い、事業の改善・継続を図る。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	元気を生み出すスポーツの振興	課（室）名	スポーツ振興課
施策	スポーツの振興	電話番号	087-839-2626
基本事業	市民スポーツ活動の推進	事業実施主体	市
事務事業	学校体育施設開放事業	事業期間	平成20年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本事業は、昭和４０年に子ども達に安全な遊び場を提供しようとの配慮から、休業中の校庭開放事業として始まり、昭和４７年から一般市民を対象とするスポーツ・レクリエーションの振興を狙いとする学校開放事業として開始し、昭和５０年には「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で無料開放している。一方、中学校については、昭和４８年から夜間開放事業を開始し、地域性、施設面積等を勘案して、現在、体育館１０校、運動場５校の指定校方式で開放を行っている。平成１４年度からは、受益者負担の原則に基づき、電気料の実費相当分を使用料として徴収している。
2年度概要	地域、職場等のコミュニティ・スポーツの場として、小学校体育施設について全校区、中学校体育施設については１５校の学校体育施設開放事業を促進し、スポーツ活動の振興に取り組む。また、中学校体育施設の開放校を拡充するための検討・協議を継続する。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	小学校体育施設開放の利用者…校区内住民で構成される１０名以上の団体 中学校体育施設開放の利用者…市内に在住または勤務する１８歳以上（高校生以下は除く）の１０名以上で構成される団体
意図（どのような状態にしたいか）	中学校体育館等の拡充を図ることで、中学校体育施設開放の利用者数増加を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
①	中学校体育館等の開放校数	校	15	15	15	15	15
②							

【事業の成果】

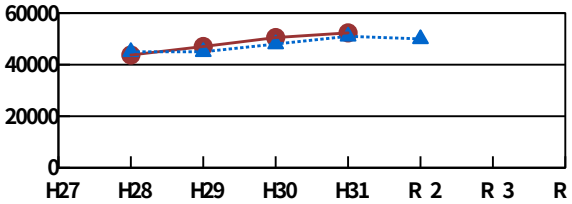
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
中学校体育施設開放利用者数	延人数	目標値	45,000	48,000	51,000	50,000	60,000
		実績値	47,046	50,517	52,335		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

目標値については達成することができた。
継続して利用者数の拡大を目指す。

（目標達成度）



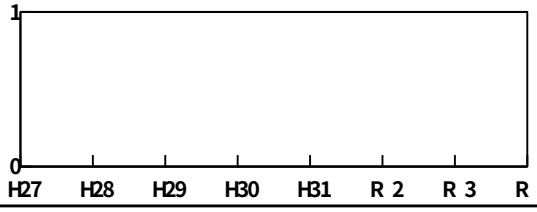
（達成度）
102.6%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	35,338	25,963	25,999	28,189
(事業費)	[千円]	25,475	16,132	16,135	18,325
(職員人件費)	[千円]	9,863	9,831	9,864	9,864

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、市民スポーツの振興に寄与した。前年度と比較して、利用者数は増加しており、継続して利用者数の拡大を目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

中学校体育館等の開放校数を拡充することで、施設利用者数の増加を図る。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	元気を生み出すスポーツの振興	課（室）名	スポーツ振興課
施策	スポーツの振興	電話番号	087-839-2626
基本事業	市民スポーツ活動の推進	事業実施主体	市
事務事業	障がい者スポーツ推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者のスポーツ推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組みます。
2年度概要	●スポーツ振興課 ・中国・四国パラ陸上競技大会の開催（補助） ・ジャパンパラ陸上競技大会実行委員会 ・日本パラ陸上競技連盟育成合宿開催 ・障がい者スポーツ普及体験用備品

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-⑮	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者のスポーツ人口の増加及び競技力の向上を図る。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
①	障がい者対応のスポーツ環境整備件数	件	2	2	2	2	5
②	障がい者スポーツの振興に関するイベント件数	件		22	23	10	10

【事業の成果】

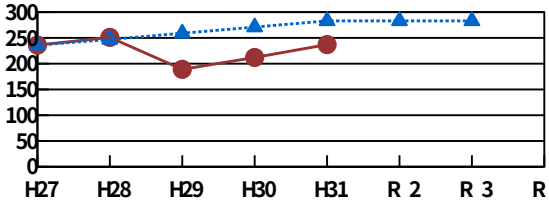
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
香川県障がい者スポーツ大会への参加人数	人	目標値	259	271	283	283	283
		実績値	189	212	237		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

目標値を下回った達成度となったが、実績値としては、毎年参加人数が増加している。今後においても、障がい者がスポーツに取り組める環境整備やイベントを企画していく。

（目標達成度）



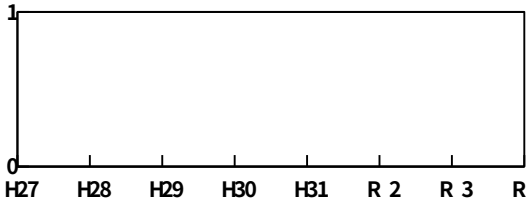
（達成度）
83.7%
29点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	15,644	26,419	18,150	18,915
(事業費)	[千円]	6,540	17,345	2,974	3,739
(職員人件費)	[千円]	9,104	9,074	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

年間を通し、様々な大会、合宿、イベント時に効果的に障がい者スポーツ体験等を取り入れ、実施することができた。また、障がい者対応のスポーツ環境整備も計画通りに実施した。

引き続き、障がい者スポ―ツの普及啓発に取り組むが、環境整備も進めながら、令和３年度以降の障がい者スポーツ大会や合宿誘致に取り組む。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

定期的に障がい者スポーツ大会を誘致できるよう環境整備を進め、本市のスポーツイベントに併せ、障がい者スポーツ体験や交流事業を継続的に実施していく。

また、スポーツ推進委員にも障がい者スポーツの普及・啓発に協力していただき、各地域での活動も積極的に進めていく。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	元気を生み出すスポーツの振興	課（室）名	スポーツ振興課
施策	スポーツの振興	電話番号	087-839-2626
基本事業	市民スポーツ活動の推進	事業実施主体	その他
事務事業	サンポート高松トライアスロン大会開催事業	事業期間	平成29年度～平成31年度

【事業全体概要】

事業の概要	サンポート高松トライアスロンは、２０１０年（平成２２年）に第１回目の大会を開催し、現在までに至る。当初スプリントトライアスロン（２５．７５㎞）として実施された大会も、２０１３年大会からオリンピックディスタンス（５１．５㎞）にコースをステップアップし、市内中心部を周回で駆け抜ける国内有数の『まちなかトライアスロン』として認知されている。また、２０１７年（平成２９年）からは、アジアカップを開催している。
2年度概要	

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内外のトライアスロン愛好者、及び世界トップエリート選手
意図（どのような状態にしたいか）	香川・高松の魅力を発信するとともに、市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加する動機付けにつなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 参加申込選手数	人	626	634	666	800	800
②						

【事業の成果】

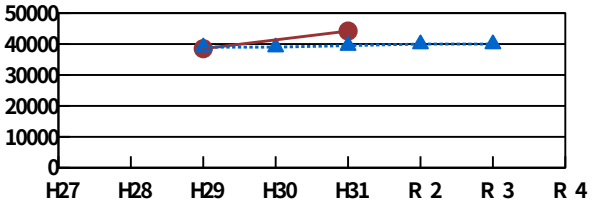
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
観客動員数	人	目標値	39,000	39,000	39,500	40,000	40,000
		実績値	38,500		44,200		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

サンポート高松トライアスロン大会の１０周年記念事業として、室谷氏のエアショーのほか、オリンピアン、パラリンピアン等による交流事業やエイジ大会参加により、例年に比べ、広報活動にも注力したため、観客数は大きく伸びた。

（目標達成度）



（達成度）
111.9%
35点

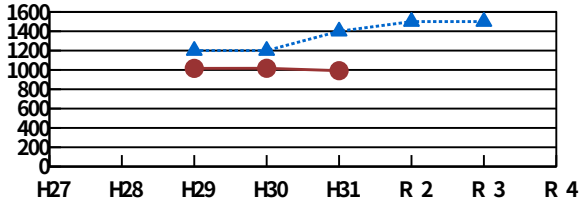
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
ボランティア参加者数	人	目標値	1,200	1,200	1,400	1,500	1,500
		実績値	1,016	1,017	992		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

ボランティアについては、作業が早朝であることなどから、参加者数が伸び悩んでいる。

（目標達成度）



（達成度）
70.9%
24点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	37,587	34,432	37,588	0
(事業費)	[千円]	30,000	26,870	30,000	
(職員人件費)	[千円]	7,587	7,562	7,588	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

３１年度は１０周年記念事業として、オリンピアン、パラリンピアン等を招聘し、小学校へ訪問し交流事業を実施するなど、トライアスロンの普及のみならず、共生社会への理解、大会の機運醸成にも努めた。
今後においても、各関係団体と連携を図り、高松市の魅力を発信し、シティープロモーションにつながる大会になるよう努める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

２日間開催に移行したことにより、必要となる経費負担、人的負担、市民への影響を考慮しながら、効率的・効果的に事業を進めていく。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	元気を生み出すスポーツの振興	課（室）名	スポーツ振興課
施策	スポーツの振興	電話番号	
基本事業	市民スポーツ活動の推進	事業実施主体	市
事務事業	東京２０２０オリンピック・パラリンピック関連事業	事業期間	平成 31年度～令和　3年度

【事業全体概要】

事業の概要	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、オリンピアン・パラリンピアンとの交流事業や事前合宿等を誘致することにより、機運醸成を図り、市民へのスポーツに対する関心やスポーツ人口の拡大に向け、取り組む。
2年度概要	オリンピック・パラリンピック事前合宿事業 オリンピアン・パラリンピアン交流事業 聖火リレー事業

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-⑦	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けての機運醸成と、オリンピアン・パラリンピアンとの交流によるスポーツ人口の拡大

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① オリンピアン・パラリンピアン交流事業件数	件			20	2	2
②						

【事業の成果】

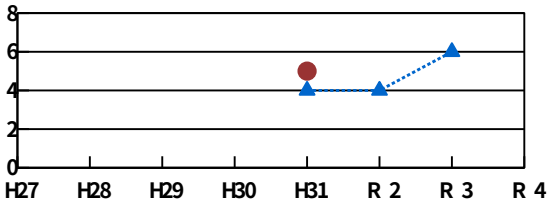
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
選手強化合宿及び事前合宿誘致件数（累積）	件	目標値			4	4	6
		実績値			5		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

台湾パラ陸上の強化合宿、世界パラ陸上競技選手権大会日本代表合宿、日本パラ陸上競技連盟のＪ－ＳＴＡＲ合宿を行い、目標値を達成することができた。

（目標達成度）



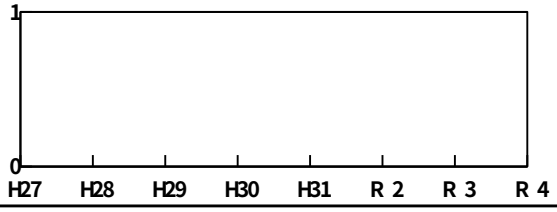
（達成度）
125.0%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]			21,658	43,928
(事業費)	[千円]			6,482	28,752
(職員人件費)	[千円]			15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

大会や合宿時の機会を捉え、積極的にオリンピアン・パラリンピアンとの交流事業を実施した。ラグビーワルドカップの前に実施したタグラグビー教室のように、時宜を得たイベント開催となるよう、イベントを展開していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、本市主催のイベント等に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の正式種目の体験やオリンピアン・パラリンピアンとの交流など、市民が興味を持てるようなイベントを展開する。